

# ユニバーサルデザイン通信

平成29年2月13日発行  
ユニバーサルデザイン推進委員会  
Vol. 3

## ユニバーサルデザイン7原則

- 1 誰でも公平に利用できること
  - 2 使う上で自由度が高いこと
  - 3 使い方が簡単であること
  - 4 必要な情報がすぐに理解できること
  - 5 うっかりミスや危険につながらないデザインであること
  - 6 無理な姿勢をとることなく、少ない力でも楽に利用できること
  - 7 利用しやすいスペースと大きさを確保すること
- \* 米国ノースカロライナ州大学ユニバーサルデザインセンター（1997年）による

## H28ユニバーサルデザイン研修

### H28ユニバーサルデザイン研修を行いました！

#### 「ユニバーサルデザインの普及・啓発」

実施日：平成29年1月27日（金）

参加者：40名

講師：さいたま市役所 都市戦略部 鈴田功至 氏

今年度は、さいたま市でユニバーサルデザインの普及・啓発を担当されている職員をお招きして、同じ行政の立場から、実際に取り組まれている事例や対応をご紹介いただきました。

さいたま市は、平成21年に「ユニバーサルデザイン推進基本指針」を策定され、職員の体験研修や全庁の取組事例を取りまとめて発信するなど、職員に対して意識付けを行っているそうです。

今回の研修に参加した職員からは、こうした研修を契機に一人ひとりの意識を変えていくことが大切だと感じたという意見がありました。

私達が行っている日々の業務の中にもユニバーサルデザインに配慮した取組が、以外に多くあるものです。相模原市でも今後、皆様から事例を集め、ユニバーサルデザインの考え方の共有が図れるような仕組みを構築していきます。

## さがプロ2020 でもUDを推進しています！！



### さがプロ2020「まちづくり推進部会」視察報告

2020東京五輪・さがみはらプロジェクト推進本部【通称：さがプロ2020】は、5つの部会から構成されています。そのうちの1つ「まちづくり推進部会」では、来訪者、選手等にやさしいまちづくりを推進しています。

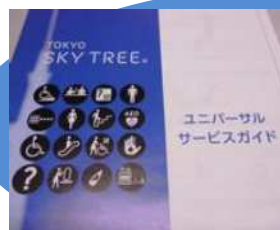
- ・国際化に対応したまちづくり
- ・バリアフリーと交通アクセスの充実したまちづくり
- ・安全・安心の行き届いたまちづくり

今回、ユニバーサルデザインの先進的な事例の研修として、東京スカイツリーを視察しました。

ユニバーサルサービスガイドやコミュニケーション支援シートなど、訪れるすべての方が利用しやすいような様々な工夫がされています。また、施設内には外国人観光客専用カウンターを設置するなど、おもてなしが随所に行き届いています。

東京スカイツリーを訪れた際には、ぜひUDを意識しながら館内を歩いてみてください。多くのヒントが見つかります！

\* UD：ユニバーサルデザイン



相模原市ユニバーサルデザイン基本指針 URL：

[http://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/dbps\\_data/material/files/000/000/031/156/universal\\_sisin.pdf](http://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/dbps_data/material/files/000/000/031/156/universal_sisin.pdf)

